

第6回千葉大学ユーラシア言語文化論講座言語学講演会

科学における言語学の位置

講師：一橋大学名誉教授 田中克彦氏

[講師紹介]

昨年末『田中克彦自伝：あの時代、あの人びと』をご出版されて、近刊の田中克彦(2017)『田中克彦セレクションI 自伝的小篇と読書ノート カルメンの穴あきくつした』新泉社も、11月にご出版予定で、ご講演や続く懇親会でも、お話しをお聞きすることができるかもしれません。

日時：2017年11月16日(木) 16:10~17:40

(終了後、講師を囲んで懇親会)

場所：千葉大学西千葉キャンパス・文学部203教室

(どなたでも、講演会も懇親会も歓迎です。ご自由にご参加を。)

田中克彦氏 主要著訳書・論文

[主要著訳書]

『ことばと国家』(岩波新書、1981年)

『言語学とは何か』(岩波新書、1993年)

『ことばとは何か—言語学という冒険』(ちくま新書 2004年、講談社学術文庫 2009年)

『ノモンハン戦争—モンゴルと満州国』(岩波新書、2009年)

コセリウ『言語変化という問題』(岩波文庫、2014年)

『言語学者がかたる漢字文明論』(講談社学術文庫、2017年)

[主要論文(集)]

『言語からみた民族と国家』(岩波書店 1978年、岩波現代文庫 2001年)

『法廷にたつ言語』(岩波現代文庫、2002年)

「石母田正と『スターリン言語学』」『歴史評論』2016年5月号

主催：千葉大学ユーラシア言語文化論講座言語学研究会

連絡先：菅野憲司 (kanno@faculty.chiba-u.jp)